

2021年7月27日

未承認新規医薬品・医療機器評価委員会で承認された治療法

当院の未承認新規医薬品・医療機器評価委員会にて、下記の治療法が承認されました。対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより投薬を実施しております。なお、本件について同意できない場合、診療において不利益を被ることはありません。この内容に関して拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

実施内容	神経破壊薬（無水エタノール注射液）を使った腹腔神経叢ブロック
実施責任者	三重大学医学部附属病院 病院長 伊佐地 秀司
対象者	当院でがん疼痛に対する治療を受けられる患者
承認日	2021.7.27
対象期間	承認後から永続的に使用
概要	<p>【目的・意義】</p> <p>膵癌を始めるとするがん患者では、腹腔神経叢をはじめとする内臓神経叢への浸潤により高度のがん性疼痛が生じる場合があります。医療用麻薬の使用にて緩和される場合も多いのですが、十分な除痛が得られなかったり、医療用麻薬の副作用が強く出たりして QOL が非常に落ちるがん疼痛患者がいます。神経ブロックはそのような高度の内臓痛を緩和し医療用麻薬の使用量を大幅に減量でき除痛の質の向上につなげることができる方法です。</p> <p>無水エタノール注射液の適応は肝細胞癌への注入療法に限られていますが、無水エタノール注射液を使った腹腔神経叢ブロック（内臓神経叢ブロック）は、高度のがん疼痛の改善に効果があるとされており、国内外のガイドラインに記載があり、国内の多くの医療機関でも実施されている行為です。</p> <p>上記理由により、当院では、医師ががん疼痛緩和目的で腹腔神経叢ブロックの実施が必要と判断したときには、無水エタノール注射液の使用を認めます。</p> <p>【想定される不利益と対策】</p> <p>ブロック実施時に、一過性に起立性低血圧や酩酊をきたすことがあります。副作用発現時は症状に応じて治療を行います。</p>
お問い合わせ先	三重大学医学部附属病院 総務課 総務係 代表 059-232-1111（内線 6293）

以上